

『がん医療のいまを知る！』 in佐伯

大分県南部医療圏で、がん患者の方々に関わっておられる医療機関・介護施設・福祉施設の医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・臨床心理士・ケースワーカー・ケアマネージャー・介護職等さまざまな職種の方を対象としたがん治療やサポート・ケアに関する最新の取り組みについての3回シリーズの教育セミナーです。

場所: JCHO 南海医療センター 大会議室
時間: 13:00~16:30

定員60名
事前申込あり
(裏面)
受講料無料

<p>11/10 (土)</p>	<p>がん治療のいまと課題</p>	<p>①がんの発生や再発・転移のメカニズムと予防対策 松浦 恵子 大分大学医学部 医学生物学講座 教授</p> <p>②早期がんに対する内視鏡を用いた治療のいまと課題 福田 健介 大分大学医学部 消化器内科学講座 特任助教</p> <p>③手術療法のいまと課題 増田 崇 大分大学医学部 地域医療学センター 助教</p> <p>④がん薬物療法のいまと課題 小森 梓 大分大学医学部附属病院 腫瘍内科 特任助教</p> <p>⑤放射線療法のいまと課題 松本 陽 大分大学医学部 放射線医学講座 助教</p>
<p>12/8 (土)</p>	<p>療養生活の暮らしを支える医療とサポートのいまと課題</p>	<p>①緩和療法のいまと課題 大野 栄治 大分市医師会立アルメイダ病院 緩和ケア内科部長</p> <p>②がん薬物療法やサプリメントに関する服薬指導のいまと課題 北村 仁 JCHO南海医療センター 薬剤師</p> <p>③がん治療と栄養管理のいまと課題 成松 聖 JCHO南海医療センター 管理栄養士</p> <p>④がんリハビリテーションのいまと課題 品矢 浩太 JCHO南海医療センター 作業療法士</p> <p>⑤痛みや有害事象への患者のセルフマネジメント力を高めるケアのいまと課題 畑中 明子 大分大学医学部附属病院 緩和ケアセンター がん看護専門看護師</p> <p>⑥再発や転移の不安に対する対処力を高めるケアのいまと課題 加藤 真樹子 大分県厚生連鶴見病院 臨床心理士</p>
<p>1/12 (土)</p>	<p>患者の人生を支えるサポートのいまと課題</p>	<p>①高額な医療費や就労問題に対する支援のいまと課題 古木 和美 JCHO南海医療センター 主任医療社会事業専門員</p> <p>②スピリチュアルな問いに対する支援のいまと課題 加藤 理人 イエズスの聖心病院 パストラルケア部 臨床カウンセラー</p> <p>③患者・家族・医療者の合意意思決定支援のいまと課題 寺町 芳子 大分大学医学部看護学科 教授</p> <p>④在宅医療のいまと課題 山岡 憲夫 やまおか在宅クリニック 院長 安藤 和子 訪問看護ステーション 佐伯の太陽 管理者 緩和ケア認定看護師</p> <p>⑤終末期医療のいまと課題 小野 剛志 佐伯中央病院 緩和ケア部長</p>

主催:新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン事業(大分大学)
 共催:独立行政法人 地域医療機能推進機構 南海医療センター、
 大分大学医学部(看護学科、地域医療学センター、消化器内科学講座)
 協賛:一般社団法人「大分の地域医療を守る会」

受講申込書

平成30年度 新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン事業(大分大学)
【インテンシブコース教育セミナー】

『がん医療のいまを知る!』 in佐伯

※できるだけ施設単位でまとめて申し込みをお願いします。個人での申し込みも可能です。

※参加日は、あくまで参加予定ということで、○印をつけてください。

※希望する回のみでの参加も可能です。

※定員に余裕がある場合には、当日受付も可能です。

所属施設名:

連絡先:

参加申し込み者名:

氏名	1回目 (11/10)	2回目 (12/8)	3回目 (1/12)

申し込み期間:平成30年9月25日(火)~平成31年1月4日(金)

FAX送付先:097-586-5076

e-mail:teramach@oita-u.ac.jp

問い合わせ先:〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1-1

大分大学医学部看護学科 寺町芳子

Tel/Fax : 097-586-5054

Email : teramach@oita-u.ac.jp